第251号　　月刊 住宅情報誌 躍 進　2023年（令和5年）11月1日（水）

1　外装一式工事の季節です！
2　羅針盤　織田信長の人気の秘密
4　これからの躍進をご紹介いたします　③
5　浴室の安心・安全対策の定番
6　「自己超越の十訓」を深掘りする　⑤
8　ドローン点検は定番アイテム
10　防犯を考える

外装一式工事の季節です！

秋も深まり、今やまさに外装一式工事の季節です。特に秋は、冬を迎えるまでに外壁を塗り替えるというお客様が多く、外装一式工事の受注を多くいただいております。

最近では、これまで数多く手がけてきた戸建てに加えて、管理物件アパートの外装一式工事の依頼が多くなりました。そして、戸建て、アパートに限らず、外壁の塗り替え時を示す兆候として以下のような現象があげられます。

① 外壁を手でこすると手に粉が付いてくる。
② 外壁の汚れが目立つ。
③ 塗膜が剥がれている。
④ 外壁にひび割れが入っている。

もしこれらの症状が１つでもあてはまったら、それは塗り替えの時期がきているサインです。躍進までお気軽にご連絡ください。

織田信長の人気の秘密

羅針盤
㈱躍進
代表取締役
笠井輝夫

坂本龍馬と人気を二分する改革者

日本史における「好きな歴史上の人物ランキング」では、昔見た歴史バラエティ番組だけでなく、ネット上に公開されている様々な「好きな歴史上の人物ランキング」でも、1位が織田信長、2位が坂本龍馬であるという結果が多いようです。

実は私も、世界史ならナポレオン、日本史なら織田信長が大好きで、経営者仲間、特に創業経営者の間でも織田信長を一番好きな人物に推す声が多く聞かれるようです。

織田信長はずば抜けた改革者でした。まず、楽市・楽座をはじめとする商業政策と都市政策の実施です。昔は公家や寺社に商売の許認可権が与えられていましたが、城下町づくりという都市政策を推進し、そこで自由に商売ができるようにしたのです。

次に、現在の大阪府堺市の商人と連携して、外国との交易を積極的に行いました。そして新しい西洋の技術を積極的に取り入れたのです。同時に、外国商人とともにやって来るキリスト教の宣教師を迎え入れ保護したといいます。これは、既存の仏教勢力への対抗措置だったともいわれています。

そして何よりも有名なのが、今川義元を討ち取った桶狭間の戦い（永禄3年5月19日〈1560年6月12日〉）でしょう。当時戦国大名を代表する大物の1人であった今川義元が2万5000人の大軍を率い尾張に侵攻した際、たった2000人の兵力で織田信長が今川義元の本陣を奇襲し討ち取った合戦です。

雨という天候や、今川義元が兵力を分散させていたことなどを計算し、10分の1の兵力で大敵を打ち破った活躍ぶりに、多くの中小企業経営者、とりわけ創業経営者が感動するのはよく分かります。

そこに映るのは、大企業を向こうに回して大きな仕事を獲得したような、改革者が成功した姿だからです。そんな織田信長に喝采を送るのは、「自分もこんなことを成し遂げたい」という憧憬なのです。

戦国大名一の非情に魅力

しかし、単なる改革者、パイオニアであれば、歴史上あまたの英傑がおりますが、織田信長のもう１つの魅力は、戦国大名ナンバーワンと言って良いほどの非情さの持ち主であるという部分です。

一武芸者としては上杉謙信が誰よりも強いと言われています。また、武田信玄が生きていたころの武田軍は、戦国大名最強軍であるというのは日本史上の通説です。しかし、非情さにおいては織田信長の右に出る者はいません。その姿を見ただけで震えが止まらなかったという武将も多く、まさに非情の塊といっても過言ではないでしょう。

非情という日本語を辞書的な意味で捉えると、「慈しみや思いやりの情の無いこと。冷たいこと」（精選版日本国語大辞典より抜粋・要約）や、「感情に左右されないこと」（デジタル大辞泉より抜粋・要約）などが挙げられますが、これを現代のビジネスシーンにそのまま持ち込めば、ただのパワハラ、モラハラで終わってしまいます。

しかし、この場合非情というのは、「一切の妥協をしない」「甘さがない」という意味に捉えるべきでしょう。そのため非情な織田信長の姿に、苛烈なビジネスの世界で勝ち残るたくましさを感じ、大いなる魅力となって多くの支持を集めたのだと思います。

私が毎日投稿しているブログ『森羅万象から学ぶ人生羅針盤』でも、日本の戦国時代は、和睦を結んだ相手が仮に親兄弟であっても、何かしらの口実を見つけて戦（いくさ）を仕掛けていますので、和睦などは絵に描いた餅のようなものと指摘しました。

なぜこんなことが平気でできるかといえば、1にも2にも「お家」を守るためなのです。領主は言うに及ばず、末端の雑兵に至るまで、「お家」のために命をかけていました。

この「お家」を会社に置き換えれば、妥協や甘さが原因で、倒産を余儀なくされるケースが多々あることが分かります。そのためには好むと好まざるとに拘わらず、非情に徹することが会社存続のために必要不可欠であることを、特に創業経営者は知っているのです。

繰り返しになりますが、いかなる経営者も会社を守ることに必死です。そこに少しでも妥協や甘さがあれば、会社としての目標・目的を達することはできません。そんな目標・目的に向かって、非情に徹して突き進む姿に憧れを抱くのは大いに理解できます。

もちろん現代は、戦国時代ではありませんのでコンプライアンス順守が求められますが、それを踏まえて妥協や甘さのない姿に人は惹かれるもので、「この人について行こう」「この人みたいになりたい」と思うのは自然なことであると強く認識してください。

これからの躍進をご紹介いたします ③

「マニュアル以上の知識」を体系化する

株式会社躍進で営業部課長を務めております宮内淳一と申します。現在は、木材保存工事（防蟻工事）の責任者として、事業の推進と後進の指導に当たっています。

躍進設立後間もない時期に入社しておりますが、異業種（運送業）からの転職であったため、最初は防水工事にも携わり、現場において実践する工事により仕事を1から学びました。木材保存工事（防蟻工事）に関連する雨漏り修理も、お客様とともに確認しながら現場で学び、今日まで20年以上に至ります。そのおかげで、現在では大抵のことを経験・理解していると自負しております。

シロアリの再発生等に関して実効性のある回答を出せる専門家は少ないようです。それを踏まえて、木材保存工事（防蟻工事）は、**「見えない部分の安心を確保」**をテーマに、実践する工事により学んだことを、いわゆる「マニュアル以上の経験、知識」として体系化し、特に次世代を担う若手に対して共有できる体制づくりに腐心しております。

「マニュアル以上」とは、いわゆる対処療法などではなく徹底的な原因究明がベースにあります。その上、家ごとに間取りや環境の違い、床下に潜っても原因箇所の特定が困難なものが数多くありますので、そこに調査の難しさがあるのです。

例えば、エアコンのダクトの隙間、壁からの雨水の浸水などは見落としがちになりますが、浸水、湿気は白蟻の大好物で、シロアリ発生の原因であることはしばしばです。これは防水工事も手掛けていたことによって得た知識が、木材保存工事（防蟻工事）にも活かせたのです。

こうしたことを体系化し、いわゆるマニュアル化するためには、やはり1つひとつの現場調査を通じて、施工技能を身につけることをたくさん積み重ねるしかなく、それが最も効果的な若手への教育法と確信しております。

「現場データ」を有効に情報共有していく

また、シロアリ以外のいわゆる「不快害虫」の駆除の依頼もあるので、木材保存工事では、防蟻工事にプラスアルファしながら、総合的な害虫駆除提案を目指していく所存です。

前述の通り、マニュアル化するためには、何よりも経験値を高めることを重視し、「こういう場合はこのページに答えがある」というための元になる大量のデータが必要です。しかし躍進は、創業設立20年を超えていますので、相当な現場データがあります。それを最も有効な形で情報の共有化を果していきます。

笠井正行社長が就任と共に吹き込んでくれた新風によってより活気づき、社員も一層生き生きとしております。木材保存工事（防蟻工事）は携わっている人も多いため、様々な情報が一番入りやすいセクションでもあります。

また、人によって能力にバラツキが生じないようにするための教育システムを確立し、皆が経験してきたことを共有できるような体制を作り上げ、より良い施工の実現を果したいと思います。そして皆様にも様々にご指導いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

浴室の安心・安全対策の定番　浴室換気乾燥暖房機

躍進では今年も、ヒートショック対策用の**浴室換気乾燥暖房機**として、**「壁面タイプ／浴室用／防水仕様」、「同／脱衣室・トイレ・小部屋用」、「同／換気扇内蔵タイプ」、「同／換気扇連動タイプ」、「天井取付タイプ」（写真参照）**をご用意いたしました。

入浴前にその都度浴室をシャワーで暖めたり、脱衣所にファンヒーターを移動したりするのでは、負担が大きいままです。浴室換気乾燥暖房機によって、安心・安全を確保してください。ご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽にご連絡ください。

「自己超越の十訓」を深掘りする ⑤

差別を乗り越える

７月号から始まりました「『自己超越の十訓』を深掘りする」は、私が毎日投稿しているブログ『森羅万象から学ぶ人生羅針盤』に掲載した内容を加筆・訂正し、情報誌１号につき２テーマを５回に分けて再掲し連載を始めたものです。そして今回の９つ目と10個目のご案内で最終回となります。まずは９つ目の「差別を乗り越える」です。

非常に残念なことですが、いつの時代にも差別は何らかの形で存在します。LGBTQ や障がい者に対する差別は軽減されたに過ぎず、完全に無くなったわけではないのです。

特に学歴差別は一向に無くなりません。私も高校を中退し、一般の人よりも少しばかり早く世の中に出たのですが、やはり様々な有形無形の差別を感じました。しかし学歴がない分、「実力でのし上がってやる」という強い決意と、人格をとことん磨いてやろうという姿勢、「何よりも結果で勝負する」という確固たる信念が自分自身の根っこにあったので、差別を気にすることはありませんでした。

もちろん、学歴があって仕事ができ、人格高潔な人は大いに認めておりますので、自分がそうでなくても、「人は人、自分は自分」と気にする必要性がなかったのです。あくまで気持ちの問題なのです。

人が生きると書いて人生ですが、その大きな檜舞台で活躍するうえで失敗することもあるでしょう。しかし、取り返しのつかない失敗でない限り、人生の大局からみれば大したことじゃないものばかりです。

そこで、何が本質であり、何が失敗の原因なのかを見極め反省をして、同様の繰り返しをしないと自分で決意することができれば、次のステージに上がることができます。一番ダメなのが投げやりになることです。

特に忘れてはいけないのが反省と感謝です。決して投げやりになることなく、これを徹底的に実践すれば、人の気持ちを動かし、差別を感じないどころか、差別自体が消え去るものであることを忘れないでください。

怠惰を最大の恥と心得る

最後の10個目は、「怠惰を最大の恥と心得る」です。これに関連して、既報244号（2023年4月号）においては、カトリック教会が示している「7つの大罪」（傲慢、憤怒、嫉妬、怠惰、強欲、暴食、色欲）をご案内しました。

これは不幸を生む要素なのですが、ビジネスにおける幸福実現のために解決しなければならない不幸の優先順位では、怠惰がトップに位置することも示しています。

怠惰の罪の代表は手抜きです。あらゆる仕事は、完璧に完成してはじめて認められるのです。つまり手抜きは仕事をしたふりをしているだけなのです。また、無知も怠惰の代表の1つです。専門知識はおろか常識さえも学ぼうとしなければ人間としての成長は一切なく、自己超越など夢のまた夢です。

また、無視や無関心、注意力散漫による見過ごしも怠惰の罪です。さらに自分に対して怠惰になるだけでなく、人に対しても怠惰になり無関心になれば相互扶助の精神が失われ、社会性が破壊されてしまうのです。

そして、絶対に許されない怠惰は、企業の縦糸を緩めるような怠惰です。もっと分かりやすく言えば経営理念を守らない怠惰です。これは能力の問題ではなく人間性の問題です。人間性が優れていれば、縦糸を緩めるような怠惰は決して行わないからです。

前述の手抜きや無知、無視、無関心、注意力散漫などは横糸に対する怠惰です。しかし縦糸を緩めるような怠惰は、ある意味、その企業における自分自身を否定していることにつながります。さらに言えば、人生の縦糸まで緩めてしまうような怠惰だと、自己超越どころか自己実現すらしようとも思わない根源的な怠惰といえましょう。

しかしありがたいことに、怠惰には勤勉という美徳が対応しています。この勤勉を守り実行することが、自己実現を経て最終的に自己超越するための必要不可欠な要素であることを肝に銘じてください。

改めましてビジネスマンならば、怠惰を最大の恥と心得て勤勉に励み、さらに他の6つの大罪（傲慢、憤怒、嫉妬、強欲、暴食、色欲）をも捨て去ることが幸福を生み、自己超越に向かう第一歩であることを強く認識しましょう。

ドローン点検は定番アイテム

躍進でも好評をいただいておりますドローンを用いた空撮による屋根、外壁、防水箇所の点検は、今や点検業務の合理化、安全確保には欠かせないものとなりました。

ドローンは、元々軍事用に開発された無人機で、現在では、遠隔操作または自動操縦で飛行できる重量が200g以上の無人航空機を指すようになりました。また、趣味やスポーツの分野にまで普及し、さらなる規制緩和で、多くの活用が期待されています。

短時間での点検が可能に

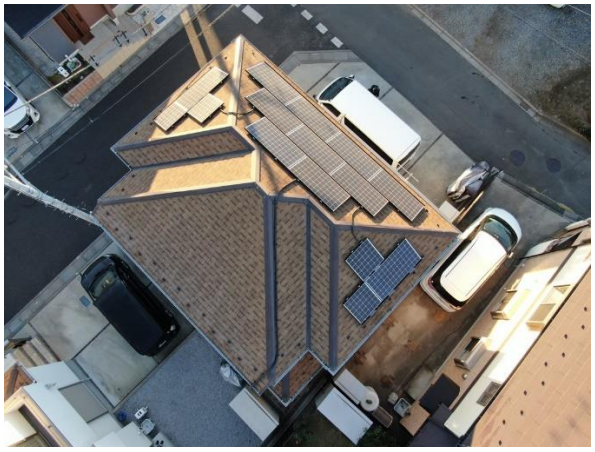
ドローン点検のメリットは様々にあります。
まず、その場で一緒に屋根・外壁の撮影画面を確認できます。お施主様も点検画面を確認できるため、安心と納得を提供できるのです。

また、画面を見ながら細かいところまで確認ができます。搭載したカメラのズーム機能を活用することによって、詳細な確認が可能となります。

さらに、足場を組むこともなく、高所での作業が必要ないので短時間で点検できます。屋根に上らないので、屋根材を傷めることもありません。

衝突防止機能も万全

ドローン操作を安全・確実なものにするために、各種センサーを活用し、3つの万全な衝突防止対策を実施しています。



1 つ目はデュアルビジョンセンサーですが、これは、機体センサーで障害物までの位置を検知し、衝突防止を実現します。

2 つ目の気圧・風速センサーによって、気圧・風速を感知することで、安全な状態での飛行を実現します。

3 つ目の赤外線検知システムの活用によって、ビジョンセンサーだけではなく、赤外線でも障害物を検知します。

保険をはじめ適切なトラブル対応を実現

そして、トラブル発生時に備えて、保険の完備をはじめサポート体制を確立しています。対人・対物の保険として、万が一の事故に備え、対人・対物とも１億円まで補償対応いたします。

また人権侵害の保険として、点検によりプライバシーを侵害した場合、損害賠償金を補償いたします。さらに「ドローン対応チーム」によって、事故発生時もドローンのプロフェッショナルチームによる対応を実施いたします。

ドローン点検で時間・クオリティ・安全を確保

ドローンの活用によって、建物の定期メンテナンスも容易になり、点検も当日で完了します。また、コストの削減や時間の短縮だけでなく、安全性や点検のクオリティにおいても、高所作業が不要となったので事故ゼロを実現できるようになりました。

今やドローンは、点検業務における定番アイテムとなったのです。多くのメリット備えたドローン点検のお申込み、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしています。

防犯を考える　住宅コラム

防犯を考えるとき一番効果が高いとされるのは、人の目による監視だと言われています。昭和40年代までの都心部でも、近所に不審者と思しき人間が現れたら「あなた誰？この辺りでは見かけない顔だね」として、未然に盗難を防ぐ近所付き合いがあったのです。

そんな古くからのコミュニティは崩壊してしまいました。その代わり防犯カメラが有効なように思われますが、確かに多少の抑止力になるでしょう。しかし実質的には、犯罪の証拠を記録する役割を果たすことが主たる機能にすぎないのです。

さらに現在では、空き巣だけでなく、在宅者が老人だけの家を狙った強盗も増えています。このような状況で防犯意識は年を追うごとに高くなっております。そうした中、住宅に関する民間の研究機関が行った「自宅における防犯調査」（全国の20～60代の男女500人を対象）の結果、全体の8割近くが自宅の防犯意識を持っていることが分かりました。

その半面、実際に防犯対策をしている人は半数にも満たない現状も浮き彫りになりました。最大の理由は、「何を対策したらいいかわからない」であり全体の4割強を占めています。また、「費用がかかる」も約3割を占めており、実際の方法論だけでなく経済的な面でも防犯は疎かになりがちなようです。

また、皮肉なことに高齢者ほど防犯意識が低いようです。「昔からこの辺りの治安は良かった」という先入観のせいで、特に「玄関ドアだけを施錠すれば安心」というお年寄りが多いのです。反面、20代前半では約6割がたった3～5分の外出でも「すべての戸締りをする」と回答しており、若年層ほど防犯意識が高いのです。

基本的に空き巣や強盗は、侵入に5分以上かかる家は標的にしないものです。そんな現状を踏まえて、最近では防犯カメラや警報ライトは言うに及ばず、警報音が鳴る小型のサイレンをはじめ、様々な防犯システムが設置されるようになりました。

これに加えて、窓の防犯柵は柵全体が簡単に外されてしまうので、より堅牢に施工する必要性があります。工務店・ビルダーの皆様をはじめ、我々住宅関連業者は、様々な工夫を凝らして侵入に5分以上かかる家づくりを推進し、住まう人の安心・安全を確保しなければならないことを肝に銘じておきましょう。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com
関連会社 不動産事業 株式会社ヤクシンジャパン
関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ
事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断